

広げて変えよう 共産党と野党へ

政権交代へのうねり 全国で



総選挙でストップ!!9年間の自公の悪政

芸人出身の清水さん。ラップ調で口に出して読んでみて!

ゴロの良さとリズムに感嘆!!

自助・共助・排除・スガスガしさのかけらもない

偽造・捏造・安倍晋三

改ざん・隠ぺい・虚偽答弁

黒塗り・白塗り・シュレッター・かけマージャンをセーフにする

もり・かけ・桜にアンリに卵

東北新社にユーアールの口利き疑惑

愛がないのにアイ・アール

(10月20日 JR大阪駅前 清水ただしさんの訴えから)

志位氏は「みなさんの大きな力がはたらいて、野党がそろってたたかう態勢がつけられました」と述べ、共通政策、政権協力、選挙協力の三つがそろい、本気の共闘態勢で総選挙に臨めるのは市民の力のおかげだと強調した。

志位・枝野氏の訴え

総選挙の投票率が10月31日と迫っています。ネット演説会、トーク集会、ユーチューブでテレビでは伝えない日本共産党はじめ4野党の訴えをガンガン流しています。10月23日午後6時15分から8時まで「未来を変えるための市民と野党党首街宣」が新宿駅東南口広場で行われました。

若者やフツッの人が「だから共産党」と

調しました。「あなたの1票で政治は変えられる。政権交代を始めよう」と力強く訴えました。枝野氏は「党派を超えて、いまの政治をまっとうにしないといけない。いざというときに支えになる政府を取り戻さないといけない。その政治を変える力を持っているのはあなたです。一緒に政治を変えましょう」と訴えました。社民党の福島瑞穂党首のメッセージが代読され、れいわ新選組の渡辺てる子氏があいさつしました。

反貧困

反貧困ネットワーク事務局長の瀬戸大作さんは「今日も10円しかないSOSでの電話がよせられた。生存権を守るためには、与野党逆転が必要です」と訴えました。

「ペア休」を

夫婦で育児休暇をと呼びかける「ペア休」発起人の境野今日子さんは、夫が育休を取得しようとしたら会社から拒否されるなど、この社会にはいくつものジェンダー不平等があると訴え。「みんなでこの景色を変えませんか。そのためには、おじさんばかりの国会に多様性が必要です」

介護職4人のママ

4人の子を育てながら介護の仕事をする大森亜希子さん(40)は「なんで子どもを育てるのに、こんなに神経をすり減らす社会なのか。国の政策の責任です」と述べ、のびのび子育てができる社会にするためにも共産党を大きくすることが必要だと力を込めました。



環境NGO

国際環境NGO「350.org japan」のメンバー・荒尾日南子さんは、若者をはじめ気候危機に関心がある人たちは選挙への関心も強いと述べ、「なぜなら、この問題を解決できる大きなチャンスだからです」と気候危機対策で日本共産党が満点。自民党が0点の結果だったと紹介しました。

大学講師

大学で非常勤講師をしている塩田潤さんは学費についてスピーチ。「私も奨学金という借金があります。これは社会の問題です」と訴え。長年、こうした政治をつくってきた自民党では解決できないと強調し、「だから政権交代が必要です。みんなで政治を変えよう」と呼びかけました。

政治アイドル

政治アイドルの町田彩夏さんは、深刻な痴漢被害が政治の世界ではずっと放置され続けてきたと指摘。「共産党は、国会でこの問題を取り上げてくれました。ジェンダー平等を本気で取り上げる人たちを、もっと国会に送ることが必要です。だから共産党を応援します」と語りました。

東京：池袋 本気でジェンダー平等を 共産党と市民が街頭宣伝



(写真) ジェンダー平等社会実現を日本共産党と池内さおり東京12区候補の勝利で、と訴える田村智子副委員長。25日、東京・池袋駅前

作家の北原みのりさん
は、女性に対する性暴力や賃金格差など自民党政権が放置してきた性差別の問題に触れ、「ジェンダー平等に本気で取り組む共産党の候補者に、一人でも多く国会に行ってもらいたいです。投票に行きましょう」と呼びかけました。

ジェンダー平等が初めて大争点に
「ジェンダー平等が初めて大争点になった選挙です」。東京都豊島区の池袋駅西口で行われた25日の日本共産党の街頭宣伝。池内さおり比例・12区候補、坂井和歌子比例候補と並んで、ジェンダー平等やフェミニズムの分野で活動する作家やライターらが一堂に会し、ジェンダー平等実現や日本共産党の躍進への思いを口々に語りました。

ライターの小川たまかさん
性暴力や働き方、教育などについて発信を続けている小川さん。国会議員らによる失言・暴言を列挙しました。「『女性はいくらでもうそをつく』『セクハラ罪はない』『女性のいる会議は時間がかかる』…。みんな自民党の人だ。今の日本政治は高齢の男性が中心。うんざりだ。どうにかしてほしい。選挙に行って、投票しよう」

野党は団結を 野党共通政策の提言 (骨子)

衆議院総選挙における野党共通政策の提言

—命を守るために政治の転換を—

- 1、憲法に基づく政治の回復
- 2、科学的知見に基づく新型コロナウイルス対策の強化
- 3、格差と貧困を是正する
- 4、地球環境を守るエネルギー転換と地域分散型経済システムへの移行
- 5、ジェンダー視点に基づいた自由で公平な社会の実現
- 6、権力の私物化を許さず、公平で透明な行政を実現する



「政治アイドル」町田彩夏さん

は、以前池袋駅で若い女性にしつこく付きまとう男性を制止しようとして頭をたたかれるなどの暴行を受けた経験を紹介。国会で共産党の小池晃書記局長・参院議員が痴漢問題を取り上げたことに言及し「性暴力を国会で取り上げる議員がまだ少ない。私たちに何が出来るか。取り上げてくれる人を国会に送ることだ」と訴えました。

日本共産党の田村智子副委員長

は、「私たちが掲げるジェンダー政策は、社会で当たり前とされてきた差別を一緒に見直そうという中身です」と紹介。女性をモノ扱いして非正規雇用・低賃金を押しつけてきた自民党政権をかえなければならぬと強調し、「ジェンダー平等に本気でとりくむ、日本共産党を大きく伸ばしてください」と訴えました。

日本共産党碧南市委員会



市議会議員
山口はるみ
☎42-8940
三度山町 2-70-4



市議会議員
岡本守正
☎41-5357
笹山町 6-29



市民運動部長
磯貝明彦
☎48-2718
若松町 3-253

**戦争法廃止
改憲許すな19行動**
12月19日 (日曜日)
午前11時～12時 ヤマナカ前に



日本共産党碧南市会議員団のホームページを新しくしました。ごらんください。

新しい日本をつくる五つの提案
○新自由主義から転換し格差を正し暮らし家計応援第一の政治
○憲法を守り、立憲主義・民主主義・平和主義を回復する
○権主義への従属・屈服外交から抜け出し、自主・自立の平和外交に転換
○地球規模の環境破壊を止め、自然と共生する経済社会をつくる
○ジェンダー平等社会の実現、多様性を大切に個人の尊厳を尊重する政治